

市民活動 情報

Vol.13
2003.11

○活動紹介コーナー	2
「自分らしい生活」を協力・支援します 北海道福祉住環境を研究する会	
○市民活動促進センター相談員からのワンヒント(第10回)	3
活動資金は、空から降っては来ないので	
○NPOイベントレポート	3
国際協力フェスタ	
○助成金情報、オススメBOOKS、センターインフォメーション	4

美瑛

●市民活動基礎講座●

第1部「みんなで安心して暮らしていける地域について考えよう！」

第2部「世代間交流「ひと・まち・ふくしフォーラムinびばい」

これからの美瑛をどの様にしたらよくなり、暮らしやすくなるかなど、これからのまちづくりについて考えます。

日時:平成15年12月6日(土)9:30~15:30

会場:美瑛市総合福祉センター

内容:第1部では、みんなで安心して暮らしていける地域について、健康、地域活動、ボランティアなどのテーマから大学生を中心にグループ討論による課題の解決策を探ります。

第2部では、世代を越えた交流から学ぶべきものについての必要性を考えるフォーラムを開催します。

参加費:無料

企画共催団体:美瑛市民ネットワーク推進委員会(市役所福祉課内)

TEL.01266-2-3131 FAX.01266-2-1081

参加申込み:同上

小樽

●市民活動地域フォーラム●

大阪府豊中市に学ぶ

NPO・行政・企業のネットワーク づくりとパートナーシップについて

～福祉住環境整備の観点から考える～

大阪府豊中市のNPOと行政との取り組み事例を基に、協働やネットワークづくりに関して考えます。

日時:平成16年1月24日(土)13:00~17:00

会場:小樽市市民会館

内容:講演

「大阪府豊中市におけるNPOとのパートナーシップについて」

「福祉住環境のためのネットワーク構築について」

講師

大阪府豊中市市民活動課 課長 田中逸郎氏

NPO法人 ユニバーサルデザイン推進協会事務局長 芳村幸司氏

パネルディスカッション

「福祉住環境整備の観点から考えるこれからのネットワークづくり」

パネリスト

大阪府豊中市市民活動課 課長 田中逸郎氏

NPO法人 ユニバーサルデザイン推進協会事務局長 芳村幸司氏

函館市・よりよい住まいを考える会副会長 眞藤眞樹氏

参加費:無料

企画共催団体:北海道福祉住環境を研究する会

TEL.070-6311-0367 FAX.011-725-7280

参加申込み:同上

○これは、それぞれの団体からの企画提案により開催いたします。

また、開催日時などは、変更になることもありますのでご確認ください。

全道各地で講座やフォーラムを開催しています

日老

●市民活動地域フォーラム●

子育て支援でまちづくり

白老町を中心に近隣市町村に呼びかけ、地域のニーズに応えられる子育て支援のあり方や、NPOの役割について考えます。

日時:平成16年2月28日(土)9:00~12:30

会場:白老町コミュニティセンター

内容:講演

「市民が行う子育て支援に期待したいこと」

講師

恵泉女学園大学教授 大日向 雅美氏

パネルディスカッション

パネリスト

NPO法人 冒険の森未来工房(苫小牧市)

NPO法人(申請中)ワニワニクラブ(室蘭市)

NPO法人(申請中)お助けネット(白老町)

助言者

恵泉女学園大学教授 大日向 雅美氏

コーディネーター

NPO法人(申請中)お助けネット 代表 中谷通恵氏

参加費:無料

企画共催団体:NPO法人(申請中)お助けネット

TEL&FAX 0144-82-2658

参加申込み:同上

以下の講座については次号で詳しくお知らせ致します

●市民活動スキルアップ講座● 千歳

ファシリテータースキルUPトレーニング

(ボランティアマネージャー編)

開催予定:2月7, 8, 21, 22日(土・日/全4回)

開催地:千歳市

企画共催団体:NPO法人 北海道ボランティアコーディネーター協会

●市民活動基礎講座● 札幌

介護保険制度の改善に向けて

～コミュニティ運動としてのとらえ方～

開催予定:2月29日(日)

開催地:札幌市

企画共催団体:北海道生活学校連絡協議会

折込チラシでは、9月末～11月に開催した講座などを写真で紹介しています。



「自分らしい生活」を協力・支援します
北海道福祉住環境を研究する会

道内に住む高齢者や障がい者などが、住み慣れた地域でいつまでも「自分らしい生活」を送る事が出来るようにと、平成13年9月に設立された団体です。人材育成を活動の柱の一つとし、福祉住環境コーディネーター試験対策の勉強会や合格後のスキルアップ講座を建築、福祉、医療の専門知識をもつメンバーが講師となって開催しています。北海道に在住する福祉住環境コーディネーターをはじめ、福祉住環境に興味のある人、これから勉強しようとしている人などが、資格の有無に関わらず意見交換や情報の交換を行い、知識の向上を図っています。

このような活動を通じて、例えば「手すりをつけたいが、大工さんと上手くコミュニケーションがとれない」というような「小さなことで困っているひとがとくさんいることに気づいた」と代表の井上さんは言います。

今後は、福祉住環境コーディネーターの資格を持ち、さらに建築士、ケアマネージャー、ヘルパーなど、それぞれの専門知識をもつメンバーが中心となり、誰でも気軽に相談できる相談窓口を開設することを目標しているそうです。



活動紹介
コーナー

(セミナー時のグループワーク風景)

北海道福祉住環境を研究する会
〒060-0808 札幌市中央区北8条西3丁目札幌エルプラザ
札幌市民活動サポートセンター事務ブース№12
TEL.070-6311-0367 FAX.011-728-7280
URL:http://kitahuku.hp.infoseek.co.jp/

情報スクランブル

(情報送付シートなどでいただいた情報です。)

◆子育て支援者講座『母乳育児について』◆ 札幌

内容:母乳育児の意義と優位性・産褥期における母乳の与え方、母と子のコミュニケーションのとり方・離乳期の断乳の仕方・母乳についてのトラブルの対処法などについて学びます。

日時:平成15年12月6日(土)10:00~12:00

場所:札幌市男女共同参画センター4F研修室5(札幌市中央区北8条西3丁目札幌エルプラザ内)

参加費:500円

連絡先:子育て支援フォーカス かざぐるま

TEL.011-764-4259 FAX.011-764-4262

携帯 090-3117-2294

URL:http://ois.com/kazguruma/

◆第10回オリジナルミュージカル公演『真夏の夜の夢~俺たちの夢~』◆ 札幌

内容:とある劇団に突如降りかかる摩訶不思議な出来事。イタズラ妖精/バツクの仕業で1599年のイギリスへ。そこで彼ら待つモノは? 今回も見どころ満載! 客演に偉人舞台の藤島良太。

日時:平成15年12月13日(土)、14日(日)

昼の部 開場14:00 開演14:30

夜の部 開場18:00 開演18:30

場所:札幌メディアパーク「ズビカ」(札幌市中央区北1条西6丁目)

入場料:前売 アリーナ席 3,300円 スタンド席 3,000円

当日 アリーナ席 3,500円 スタンド席 3,300円

連絡先:劇団「フルーツバスケット」公演実行委員会

TEL.011-271-7077

E-mail:egg-mail@d8.dionne.jp

◆ボランティア展2003◆ 札幌

内容:障がい者やお年寄りを地域社会が助け合うボランティアの心を広め、子どもたちの心に「思いやり」を育てる温かな地域づくりを目指します。

ボランティアについての「メルマガや養護学校や養育学校の児童生徒の作品展示のほか、札幌西区オーケストラ、育成太鼓などによるふれあい音楽会もあがります。

ご家族、子どもたち、地域の皆さんなど、どなたでも参加出来ますので、お気軽にお出かけください。

当日のボランティアも募集しています。

日時:平成15年12月6日(土)10:00~18:00

場所:札幌サンプラザ(札幌市北区北24条西5丁目)

参加費:無料

連絡先:ボランティア展実行委員会

TEL&FAX 011-738-1645

URL:http://www.kbcg.jp/s/

◆第33回ほっかいどう漫画集団展◆ 札幌

内容:世相を反映したひとコマ漫画の展覧会です。

今年はテーマコーナー「2003年あったネ、こんなこと」を設け、一年の出来事を振り返ります。

日時:平成15年11月27日(木)~12月3日(水)10:00~19:00

(3日は17:00まで)

場所:さっぽろ東急百貨店10階モナリザギャラリー(札幌市中央区北4条西2丁目)

入場料:無料

連絡先:ほっかいどう漫画集団

TEL.011-733-2229

◆世界エイズデー2003in札幌◆ 札幌

内容:12月1日の世界エイズデーに合わせて各種イベントを開きます。

「Talk about AIDS!!」は10代、20代の若者を対象に、5だん聞けないセックスやエイズのことをリラックスして一緒に話そう!という企画です。

また、「美害エイズってなあに?~感染者らのメッセージ~」は薬害によってHIVに感染した方が、ビデオや体験を通して、分かりやすく熱く語りかけます。

日時:平成15年12月13日(土)

13:00~15:30 「Talk about AIDS!!」

16:00~18:00 「美害エイズってなあに?~感染者らのメッセージ~」

場所:White Key Event Space
(札幌市南3条西2丁目4番地ニコービル)

連絡先:世界エイズ in札幌 実行委員会

TEL.080-3231-7302 FAX.011-812-1222

URL:http://www.wad-sapporo.org/

◆参加しませんか? 車いすダンス◆ 札幌

内容:本格的なバリアフリー社会の実現に向けて、リハビリテーション効果も兼ねながら、車いすダンスを芸術・スポーツとして、また、私たちの「らびあ」の場として一緒に楽しみましょう!

日時:毎週木曜日13:00~14:30

場所:札幌市身体障害者福祉センター(札幌市西区二十四軒2条5丁目)

参加費:無料

連絡先:車いすダンス「ハーモニー」

TEL&FAX.011-671-3036

◆北のまなびネット交流セミナー◆ 札幌

地域学習活動活性化支援セミナー 「協働の理念による新たな学びの創造」◆

内容:生涯学習に携わる行政や市民活動団体関係者を対象に、学習活動の活性化に向けた研修を行います。

基調講演(NPOや市民活動と生涯学習~協働型社会の可能性を考える~)、事例フォーラム(NPOや市民活動団体の運営の成果と課題~参加型学習をどのようにすすめるか~)、演習「市民参画による事業の企画・立案~市民と行政の互いの学びから~」ほか。

日時:平成15年12月10日(水)~12日(金)9:30~17:00

(12日は15:00まで)

場所:かでる2・7 610A会議室(札幌市中央区北2条西7丁目)

参加費:無料

連絡先:北海道立生涯学習推進センター研修講演課

TEL.011-231-4441 内線36-327-328

E-mail:kensyu@manabi.pref.hokkaido.jp

市民活動促進センター 相談員からのワンヒント(第10回)

金沢市
市民活動センター
〒951-8511 石川県金沢市
東区南11条西1丁目

活動資金は、空から降っては来ないのです

最近、特に多い相談に困っています。
「NPOを設立すると、助成金や補助金がもらえるのですよね?」
残念ながら、NPOやNPO法人を設立しても、設立しただけでは助成金や補助金はもらえません。どうして、そのように思ってしまったのでしょうか。
活動をスタートさせ継続させるには、まずNPOの基本的な収入源について組み立てる必要があります。
一番安定しているのは、活動の賛同者からの会費収入です。
年会費を設定することで、間違いなく会費収入が入りますので、最低限の団体運営が出来るくらいの会員を増やすのが理想です。
また、法人化しているのであれば、当然事業を持っていますので、事業収入を増し安定させるのが設立した役割の責務だと思います。
その2つをキチンと考え、運営の基礎をしっかりと築いた上で、最後に寄付金や助成金・補助金といったものを考えます。
これは、非常に不安定な資金と考えなければなりません。

また、先に述べたように、NPOを設立したからと言って、助成金をくれるところなど皆無と書いていいでしょう。

寄付金や助成金・補助金などの獲得の方法は、まず活動をして、その事業の実績や新しい企画力をアピールし、他の団体との競争に勝たなければなりません。

助成金の情報は一体どこにあるのか?一番情報量が多く早いのは「シーズー=市民活動を支える制度をつくる会」のホームページ「npo-web」です。

他に、当センターのホームページや北海道NPOサポートセンターの会報「北海道NPO情報」などで入手することが出来ますので、いつも新鮮な情報を入手することをお勧めします。

情報を入手したら、その中で「自分たちの活動内容に見合うもの・これから活動したいと思う内容」をよく考えて申請してください。

当センターでは、助成先の情報提供や獲得のアドバイスなどをしていきますので、気軽に相談員に声を掛けてください。

NPOイベントレポート



「国際協力フェスタ」

平成15年10月4日(土)~5日(日)、「Peace for All」をテーマに国際協力フェスタが、サッポロファクトリーシアター・催事場・ファクトリーホールで開催され、参加NGO43団体、参加ボランティア155人を始め総勢約2万人が集いました。

シアター会場の「エスニックカフェ」では、インドネシア・ネパール・カンボジア・ベトナム料理など、世界各国のエスニック料理が集合しました。ちなみに、ナシ・チャンプル(かけご飯)は350円、クスクスは100円でした。また、世界の子ども達の写真展や民族衣装ファッションショーのほか、民族ダンス、ライブに参加するミュージシャンによるステージパフォーマンスなどがありました。

また、催事場では、42団体の活動を紹介するパネル展のほか、チャリティバザーコーナーには、21団体が出品し、支援国などから購入した民芸品・手工芸品・雑貨・衣類を販売しました。この売り上げは、各団体の活動資金となります。

なお、このフェスタの一環として、当センターによる市民活動基礎講座「今日から始める国際協力」を開催しました。環境や教育、人権、福祉など国際協力の活動分野は多岐にわたっていますが、この講座では、ヒマラヤ僅交流サバナ、エスニコ、北海道マルティコラ・ネパール教育基金、飛んでけ!車いすの会など10団体から、活動を始めたきっかけや組織の形態、活動資金などについての発表がありました。

どの会場も大勢の人が訪れ、盛り上がりしていました。国際協力をテーマに活動している団体の中には、スタディ・ツアーを企画している団体もあります。

観光ツアーでは体験できない、出会いや感動があるのではないのでしょうか。皆さんも、今度は参加してみたい方が多いのでは?



北海道NGOネットワーク協議会事務局
〒064-0811 札幌市中央区南11条西1丁目
北海道YMCA内
TEL.011-561-5842 FAX.011-563-0041

市民活動ミニミニ情報

災害時のボランティアに参加するには...

今年は、8月の台風10号による日高・十勝地方の豪雨災害、9月に発生した十勝沖地震など自然災害が多発しています。

平成12年3月31日の有珠山噴火による災害では、全国から延8,125人のボランティアが参加し、復興に向けて活躍しました。

災害時のボランティアの主な活動内容は、災害発生直後は救出・消火活動等の後方支援、被災住民の安否・避難状況の把握、被災弱者(障がい者・高齢者・高齢者等)への支援などで、その後は、避難場所の運営支援(水・炊き出し)、水・食料の配布や救護物資の仕分け・配布、被災者の生活相談などが中心。復興期には、日常的生活支援、話し相手、引越の手伝い・移送サービス、生活環境の美化などがさまざまなものがあります。

災害時のボランティアとして参加するには、被災地(地元)の自治体や社会福祉協議会などにボランティアの受け入れ態勢を確認し、さうして参加する必要があります。心構えとして、約束事や秘密は必ず守ることは最低限のルールと言えるでしょう。そして災害地では危険を伴うことを忘れてはなりません。

また、ボランティア活動に要する経費等は、原則として自ら準備し、被災地に負担をかけるまいとしましょう。具体的には被災地までの交通費の負担や活動の際の水・食糧・宿泊場所の確保などは各個人の責任で行うものと考えましょう。

災害時のボランティア活動を円滑に行うための救護活動を行っている「災害救援ネットワーク北海道」では、次の「ボランティア10ヶ条」を掲げています。
1 無理をしないように 2 相手に必要な手助けを 3 約束や秘密は守ろう
4 学習し、自分を成長させよう 5 やりあろうやそう 6 積極的に謙虚に
7 活動口はじめをつける 8 活動記録をとろう 9 家族や職場の理解を
10 安全面の気配りを

ボランティアは、自らの意思によって活動することが原則ですが、被災地(地元)の自治体や被災者からの要請やルールを守って活動しましょう。

災害救援ネットワーク北海道(山口幸雄代表)
〒065-0022 札幌市東区北22条東1丁目7-12 バイン内
TEL.060-8274-8002 FAX.011-733-7191

国際協力情報誌「であい」別冊
北海道NGO団体活動紹介パンフレット

道内で国際協力活動を行っている55の市民活動団体の活動をとても分かりやすく紹介しています。また、道内の国際協力の関連機関の連絡先も紹介しています。

当センターの受付カウンターに置いて、無料でお返ししていますのでご利用ください。

なお、郵送を希望される方は下記にご連絡ください。

(社)北方センター 国際協力部
〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目 道庁別館12階
TEL.011-221-7840 FAX.011-221-7845
Email:info@ncc.or.jp

助成金情報

JATA環境基金

地球にやさしい市民活動支援助成

対象事業：自然や文化遺産を保護する事業、環境に配慮した観光の発展に寄与する事業に対し助成します。

助成金額：1件あたり100万円程度

応募期限：平成15年12月20日(当日消印有効)

連絡先：JATA環境基金事務局

TEL.03-5777-0387

FAX.03-3435-1065

URL: <http://www.jata-net.or.jp>

青少年育成に関するNPO助成

対象事業：非営利法人が地域社会の核となって実施する青少年の育成に繋がる事業に対し助成します。

助成金額：1件あたり300万円(年額)を上限

応募期限：平成15年12月31日(当日消印有効)

連絡先：日本たばこ産業株式会社コーポレートコミュニケーショングループNPO助成事務局

TEL.03-5572-4290 FAX.03-5572-1489

URL: <http://www.jti.co.jp/JTI/contribution/npo.html>

平成16年度(第3回)環境NPO助成

対象事業：NPO法人又は3年以上の実践活動歴を有する任意団体を対象に「環境と経済との調和」及び「環境と科学技術との調和」に資することを目的とし政策提言活動、環境学習・教育活動、専門家・実務家を含めた人材育成、国際交流活動(人材の派遣・招聘)等を推進する環境NPO活動に対して助成します。

助成金額：1件あたり150万円以内

応募期限：平成16年1月9日(当日消印有効)

連絡先：財団法人 日立環境財団

TEL.03-3212-2747 FAX.03-3215-2449

URL: <http://www.hitachi/nt/dkk/hsk15600.html>

おすすりBOOKS

『あなたが世界を変える日』

12歳の少女が環境サミットで 讀った伝説のスピーチ

内容：1992年にブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開催された国連の地球環境サミットで、カナダの12歳の少女セヴァン・カンス・スズキが6分間のスピーチを行いました。「オゾン層に穴をどうやってふさぐのが、あなたは知らないでしょう。…絶滅した動物をどうやって生きかえらせるのが、あなたは知らないでしょう。…どうやって直すのがわからないものを、壊しつづけるのはもうやめてください。…と、世界の惑星をまっすぐに空々とスピーチした内容やなぜリオ地球環境サミットでスピーチすることになったのか、などわかりやすく解説されています。

セヴァンのスピーチは心に強く訴えかけ、未来の子どもたちのために地球規模で自然環境を考え、環境・省エネルギーについて日常から取り組むことの大切さを痛感する感動の一冊です。

著者：セヴァン・カンス・スズキ
編訳：ナマケモノ倶楽部
発行：学潮書房
価格：1,000円(税別)



片岡園のコミュニティビジネス入門『儲けはあとからついてくる』

内容：『会社を辞める人に向いたのは、「問題を発見し」「解決を実践し」「仲間が集まって」くれれば、物事は空気でうまいくらいのことだ。お金は後からついてくるということだ。自分がやったことが社会に必要ななら、それがカンパという形でも一瞬一瞬とにたく支援してくれる人が、る限り、支えられて継続するものだ。格好良すぎるかもしれないが、私は昔の古い経営論を持たない。そんなノウハウは、新しい時代には通用しない。(本書で「コアより技術」)著者は、1984年に銀行を辞めた後、世界放浪の旅に出ます。89年にドイツの工場見学と出会い、日本で市民バンクを立ち上げ、社会的に意味のある事業を対象に無担保・低利の融資による起業支援を行っています。

これまで100件以上融資し、貸し倒れはありません。2000年、若手起業家向けの直接金融、チャレンジお若者ファンドも設立しています。

著者：片岡 勇
発行：日本経済新聞社
価格：1,400円(税別)



センターインフォメーション

函館市で市民活動地域フォーラムを開催しました！

NPO法人シーズネットとの共催により「豊かな老後を考える講演とシンポジウム」が11月1日(土)に函館市の北洋ビルで開催されました。

このフォーラムは、夏島管内のシニアによるネットワークづくり、拠点づくりをテーマに開催し、会場には函館市はもとより、札幌や東京などから70名が参加されました。

作家の森本貞子さんによる「豊かな高齢社会と市民活動の必要性」と題した基調講演があり、この中で、森本さんは、30歳の時に老人問題研究会を立ち上げた経験をもとに、「歳をとっても、もう少し活躍したい。豊かな老後を送りたい」と感じたことなどを話されました。

また、日本の家族制度が大家族から核家族へと変化している現状や旧道徳と新道徳のつづりがいなどを具体的な事例から話されました。この後、シンポジウム「市民同士の結びつきと市民活動」があり、各パネリストから市民活動の現状と課題が発表され、それを受けて、質疑応答がありました。

まとめとして、NPO法人シーズネット理事長の岩見太市さんが、市民活動の結びつきには、1. 自助、2. 公助、3. 共助の3つの筋があり、これからは、歳をとって子どもの世話にもなれないとなると、地域で生きて行くための人と人との横社会の関わりが大切であり、高齢社会のグランドづくりが大事、と力説されました。



北海道立市民活動促進センターは、地域社会のニーズ的確に応えようとするNPOなどの道内の市民活動を応援しているセンターです。

事務局ニュース

- 9月27日(土)・市民活動基礎講座(安平川の自然環境を考える)を道庁町で開催
- 10月4日(土)・市民活動基礎講座(今日から始める国連協力)を札幌市で開催(5日迄)
- 市民活動スキルアップ講座(プレゼンテーションに強くなる)を札幌市で開催(その後5日、11日、12日に開催)
- 10月6日(月)・市民活動基礎講座(NPO活動の必要性と地域のネットワークづくりについて)を赤平市で開催(その後14日、20日に開催)
- 10月11日(土)・市民活動基礎講座(私たちの住む環境は、私たちの手で)を道庁市で開催
- 10月12日(土)・市民活動地域フォーラム(あなたも起業家!)を旭川市で開催
- 市民活動基礎講座(地域のお宝再発見～身近な活動から気づくこと～)を江差町で開催
- 10月17日(金)・北海道新聞社主催のおとなの文化祭で市民活動パネル展を開催(18日迄)
- 10月18日(土)・市民活動基礎講座(主体的に参加する住民のまちづくり活動)を白老町で開催
- 10月24日(金)・市民活動スキルアップ講座(市民活動の変化と市町村合併～意識調査と取りまとめ)を河津町でスタート(その後3月迄全4回)
- 10月30日(木)・政策課題形成研修に係る先進地調査でいわき市の職員が来所
- 10月31日(金)・市民活動基礎講座(アファガノ発展と車いす配布報告会in函館)を函館市で開催(11月2日まで開催)
- 11月1日(土)・市民活動地域フォーラム(豊かな老後を考える講演とシンポジウム)を函館市で開催
- 11月5日(水)・緊急再就職訓練講座「NPO起業科コース」実地研修の研修生受け入れ(7日までの3日間)
- 11月10日(月)・市民活動基礎講座(市民活動の現状と今後の地域づくりについて)を稚内市で開催
- 11月14日(金)・市民活動スキルアップ講座(ワーク&ワーク 広報ビュッケット 伝わるメッセージの創り方講座)を旭川市で開催(その後15日、21日、22日に開催)
- 11月22日(土)・アドバイザー養成講座(地域社会と市民活動について)を上士幌町でスタート(その後1月まで全6回)

市民活動情報vol.13 2003.11発行

北海道立市民活動促進センター[財団法人北海道地域活動量奨励協会]

〒060-0003札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館西棟1階 TEL.011-261-4440 FAX.011-251-6789

E-mail:center@fureaizaidan.or.jp URL: <http://www.fureaizaidan.or.jp/npo.html>